

「ナイン」の構造

目的  
目標

「ナイン」のドラマティック性はどこにあるのか理解する。  
「ナイン」のストーリーの構造を次の文章をもととして、みんなが説明できる。

「ナイン」は「変化したもの」と「変化しないもの」の対立であり、「ナイン」において「変化したもの」の代表は（A）であり、「変化しないもの」の代表は（B）である。そして最終的には（C）が（変化したもの・変化しないもの）の重要性に気づく。

「ナイン」の中に表れる「変化したもの」・「変化しないもの」をそれぞれ列挙しよう。

変化したもの	変化しないもの

物語の構造とは？ とてもシンプルだ。次の一文に尽きる。

登場人物が「旅」をして、「逆転」する。

「旅」とは…… 本当の旅だったり、心の中で思いをめぐらせることだったり、時間が過ぎたり、闘ったり、悩んだりなど、様々な場合がある。  
 「逆転」とは…… 今まで劣勢だったものが優勢になったり、その逆だったり、「悪」だったものが「善」になったり、その逆だったり、わからないことがわかるようになったり、など、争いや戦い、葛藤により、《旅立ち》と《結末》では、立場が変化することをいう。

具体例・「水戸黄門」

